



CADEP SFM ニュース

持続的森林管理のための能力開発プロジェクト - ケニア

2017年11月 - No. 3

今回のニュース

森林政策

パイロット事業

REDD+

育種

地域協力

*各活動の連携については、プロジェクトの展望図をご参照ください。

Farmer Field School のファシリテーター養成研修の開催（2017年7月）

プロジェクトは活動のひとつとして二つの対象カウンティ政府（エンブとタイタタベタ）職員の森林管理および森林普及の能力強化を目指しています。その取組の一環として、今回、7月10～21日の約2週間をかけて、KFS（ケニア森林公社）の主要な普及手法である Farmer Filed School（FFS）のファシリテーター養成研修をエンブ市内で開催しました。

対象カウンティ政府にはまだ正式な森林官が配属されていないため、カウンティ政府から農業普及員及び環境職員、KFSの森林官の一部を研修生として選抜しました。講師は過去の JICA 技術協カプロジェクト「半乾燥地社会林業強化計画（2004～2009年）」の時に FFS 研修を受け、のちにマスタートレーナーとなった KFS 職員 3 名に依頼しました。

同研修は FFS の実施ステップに沿った理論と実践を交えた内容となっており、研修生は FFS の実施時と同じように複数のグループに分かれ、毎回与えられた課題をグループで議論して発表しました。現在、他カウンティで実施中の FFS グループの活動視察も行われ、研修先に戻った後に実施内容に対する評価と議論を行いました。ほぼ毎日講義終了後も研修生は課題に取組み、週末も休みなくグループは作業を続けていました。



FFS ファシリテーター養成研修



研修講義の様子



FFS グループの Enterprise activity の選定方法の実習



エンブの Mwanzo FFS グループメンバーによるの苗畑の実験結果の測定中



タラカニティの Gakurungu Women SHG の FFS グループ作業の様子



KFS の Ngoriareng 氏から修了書を受取る研修生（農業普及員）

7月21日、2週間の研修を終えた研修生一人一人は KFS 幹部職員から受講修了書を受取り、各任地へ戻りました。彼らは今後約1年間、任地で FFS を実施する農民グループを選定し、活動を実施していきます。

上記の研修後の翌週には、エンブの FFS 経験者（農民）の中から農民ファシリテーターとして活躍してきた4名を選抜し、彼らを対象に FFS リフレッシュ研修を7月25日から27日まで実施しました。研修では FFS プロセスのおさらいを行い、新しいファシリテーターと同じ時期から新しい FFS を実施してもらう予定です。



農民ファシリテーターの研修の様子



KFS Nduati 氏から受講修了書